

社会情報学部修正版

大社生：P.131～133、P139

大社環：P13、P131～133

大社情：P131～133、P153

大妻女子大学

OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY

2026



履修ガイド

家政学部

文学部

社会情報学部

比較文化学部

データサイエンス学部

短期大学部

3 卒業するために必要な要件

本学を卒業するためには、修業年限（大学は4年以上、短大は2年以上在学すること）を満たし、各学科で定められている授業科目及び卒業必要単位数を次のとおり修得しなければなりません。

卒業必要単位数

家政学部

区 分		被服学科	食物学科		児童学科		ライフデザイン 学科	
			食物学専攻	管理栄養士専攻	児童学専攻	児童教育専攻		
全学共通科目	基礎科目	I 女性とキャンパスライフ	3	3	3	3	3	
		II リテラシー	2	2	2	2	4	
		III キャリア	2	2	2	2	2	
	教養科目	I 人間と文化	10	9	9	9	2	8
		II 社会と生活						
		III 自然と科学						
		IV スポーツ						
	外国語	2	2	2	2	2	2	
	地域文化・国際理解							
	小 計		34	28	28	28	11	34
専門教育科目	家政学部共通	6	4	4	4	4	6	
	必修	24	62	84	100	98	36	
	選択必修	44	—	2または4	6	—	1	
	選択	16	30	16または18	4	27	47	
小 計		90	96	108	114	129	90	
自由選択科目		—	—	—	—	9	—	
合 計		124	124	136	142	149	124	

文学部

区 分		日本文学科	英語英文学科	コミュニケー ション文化学科	
					全学共通科目
II リテラシー	2	2			
III キャリア	2	2			
教養科目	I 人間と文化	10	10	10	
	II 社会と生活				
	III 自然と科学				
	IV スポーツ				
外国語	2	12	12		
地域文化・国際理解					
小 計		37	33	37	
専門教育科目	必修	46	54	28	
	選択必修	22	0	32	
	選択	20	30	30	
	小 計	88	84	90	
自由選択科目		—	8	—	
合 計		125	125	127	

社会情報学部

区 分		社会情報学科			
		社会生活情報学専攻	環境情報学専攻	情報デザイン専攻	
全学共通科目	基礎科目	I 女性とキャンパスライフ II リテラシー III キャリア	1 } 4	1 } 4	1 } 4
	教養科目	I 人間と文化 II 社会と生活 III 自然と科学 IV スポーツ	8 } 9	8 } 3	8 } 9
	外国語		8	8	8
	地域文化・国際理解				
	小 計		30	24	30
	学部共通科目	必修	8	6	8
		選択	6	6	8
	小 計	14	12	16	
専門教育科目	必修	26	16	40	
	選択	—	6 または 2	—	
	選択	42	56 または 60	24	
	小 計	68	78	64	
自由選択科目		12	10	14	
合 計		124	124	124	

比較文化学部

区 分		比較文化学科	
全学共通科目	基礎科目	I 女性とキャンパスライフ II リテラシー III キャリア	3 } 4 } 2
	教養科目	I 人間と文化 II 社会と生活 III 自然と科学 IV スポーツ	6 } 9
	外国語		14
	地域文化・国際理解		
	小 計		38
	学部共通科目	必修	6
		選択	18
	必修	8	
	小 計	32	
専門教育科目	必修	26	
	選択	20	
	必修	10	
	小 計	56	
合 計		126	

データサイエンス学部

区 分		データサイエンス学科	
全学共通科目	基礎科目	I 女性とキャンパスライフ II リテラシー III キャリア	1 } 2 } 2 } 13
	教養科目	I 人間と文化 II 社会と生活 III 自然と科学 IV スポーツ	8 } 13
	外国語		4
	地域文化・国際理解		
	小 計		30
	専門教育科目	必修	40
		選択	10
	必修	44	
	小 計	94	
合 計		124	

短期大学部

区 分		家政科		
		家政総合コース	食と栄養コース	
全学共通科目	基礎科目	I 女性とキャンパスライフ II リテラシー III キャリア	2 } 2 } 2 }	
	教養科目	I 人間と文化 II 社会と生活 III 自然と科学 IV スポーツ	2 } 5 } 2 } 6 } 1	
	外国語		2	
	地域文化・国際理解		1	
	小 計		18	
	専門教育科目	必修	6	42
		選択	32	1
	必修	8	11	
	小 計	46	54	
合 計		64	67	

修業年限と在学年限

修業年限とは、教育課程を修了して卒業するために必要な年数で、休学期間を除いて大学は4年間、短大は2年間の在学年数が必要です。在学年限とは、本学に在学できる最長年数のことで、休学期間を除き、大学は8年、短大は4年が限度です。

社会情報学部

教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー……	130
全学共通科目の履修について……	131
全学共通科目の卒業要件……	132
社会情報学科 社会生活情報学専攻……	135
社会情報学科 環境情報学専攻……	141
社会情報学科 情報デザイン専攻……	149

社会情報学部 教育研究上の目的

現代社会が要求する情報リテラシーを修得し、高度に発達したIT社会で活躍することのできる人材を養成する。

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

社会情報学部では、情報化とグローバル化が進展した現代において、自己の未来を築き、社会に貢献できる、自立的な女性を育成することを使命とします。その実現に向け以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 21世紀の情報社会において、新たな課題を見出し、情報を整理・活用し、問題を解決する能力。
2. 情報社会における生活、環境、情報の諸課題に対し、的確な意思決定をする能力。
3. 情報教育及び語学教育などで培ったコミュニケーション力をもとに、多様な社会で協力・共存することのできる能力。
4. 講義や演習、卒業研究を通じて、学部、専攻の専門的知識・技術を修得し、社会集団において主導的役割を果たしていく能力。

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

社会情報学部では、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた目標を達成するために、次のような教育を行います。

1. 情報処理実習などの情報教育と、英語などの語学教育を3専攻共通の基礎的科目として位置づけます。
2. 1年次に開講される少人数教育である基礎演習を出発点として、専攻ごとに社会科学、人文科学から自然科学までの文理融合の専門教育科目を総合的に学びます。
3. 3年次から必修の少人数ゼミナールと卒業研究を通じて、問題設定能力、情報の整理・活用力および問題解決力を実践的に育成します。

1 全学共通科目の履修について

社会情報学部 社会情報学科

次のように科目を履修し、社会生活情報学専攻・情報デザイン専攻は合計 30 単位以上、環境情報学専攻は合計 24 単位以上を修得してください。

- (1) 必修科目 (計 9 単位)
 - ① 基礎科目の「I 女性とキャンパスライフ」から「大妻教養講座」(1 単位)を履修してください。
 - ② 外国語科目の「英語 I A・I B・I C・I D・II A・II B・II C・II D」(計 8 単位)を履修してください。
- (2) 選択必修科目 (計 12 単位)
 - ① 基礎科目から、「大妻教養講座」「大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ」以外の 4 単位を履修してください。ただし、社会生活情報学専攻は、「II リテラシー」から履修できるのは「データサイエンス・AI 概論」のみになります。
 - ② 教養科目の「I～Ⅳ」から、8 単位を履修してください。
- (3) 選択科目 (社会生活情報学専攻・情報デザイン専攻 計 9 単位以上、環境情報学専攻 計 3 単位以上)
 - ① 基礎科目、教養科目、外国語科目、地域文化・国際理解科目の中から必修科目と選択必修科目で履修した科目以外に専攻によって 9 単位以上もしくは 3 単位以上を履修してください。

※ 注意事項

社会情報学部では「情報基礎 PC (情報活用・PC 操作)」「情報基礎 DS (表計算活用・データリテラシー)」「AI 活用」は開講されません。

2 全学共通科目の卒業要件

社会情報学部

(2026年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数									備考						
						社会生活情報学専攻			環境情報学専攻			情報デザイン専攻									
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択							
基礎科目	Ⅰ女性とキャンパスライフ	大妻教養講座	1	半期	講義	1	1														
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2															
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4															
		女性と健康	2	半期	講義	1・2・3・4															
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4															
		女性史	2	半期	講義	1・2・3・4															
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4															
	Ⅱリテラシー	日本語 A (文章表現)	2	半期	講義	1															社会生活情報学専攻は選択必修単位数に含まない
		日本語 B (口頭表現)	2	半期	講義	1・2															
		日本語 C (読解)	2	半期	講義	1															
		情報基礎 PC (情報活用・PC操作)	2	半期	演習	1		4				4				4					
		情報基礎 DS (表計算活用・データリテラシー)	2	半期	演習	1															
		データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1															
		AI活用	2	半期	演習	2・3・4															
	Ⅲキャリア	キャリアデザインⅠ	2	半期	講義	1・2															
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義	2・3															
		キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4															
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習	1・2・3・4															
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習	2・3・4															
	教養科目	Ⅰ人間と文化	文学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4														
音楽の世界			2	半期	講義	1・2・3・4															
美術の世界			2	半期	講義	1・2・3・4															
映像・演劇の世界			2	半期	講義	1・2・3・4															
考古学の世界			2	半期	講義	1・2・3・4															
ポピュラー・カルチャーの世界			2	半期	講義	1・2・3・4															
地域と文化			2	半期	講義	1・2・3・4															
言語と文化			2	半期	講義	1・2・3・4															
日本の歴史と文化			2	半期	講義	1・2・3・4															
世界の歴史と文化			2	半期	講義	1・2・3・4															
哲学と思想		2	半期	講義	1・2・3・4																
日本文化・事情		2	半期	講義	1・2・3・4																
Ⅱ社会と生活		子どもの世界	2	半期	講義	1・2・3・4															
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2・3・4															
		日本国憲法	2	半期	講義	1・2・3・4															
		法律と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4															
		政治と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4		8	9		8	3		8	9						
		経済と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4															
	メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4																
	家族と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4																
福祉と現代社会 (ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4																	
SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4																	
Ⅲ自然と科学	数学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4																
	生活の物理	2	半期	講義	1・2・3・4																
	生活の化学	2	半期	講義	1・2・3・4																
	科学と環境	2	半期	講義	1・2・3・4																
	生命の科学	2	半期	講義	1・2・3・4																
	宇宙の科学	2	半期	講義	1・2・3・4																
	人類の進化	2	半期	講義	1・2・3・4																
自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2・3・4																	
Ⅳスポーツ	スポーツ A	1	半期	実技	1・2・3・4																
	スポーツ B	1	半期	実技	1・2・3・4																
	スポーツ C	1	半期	実技	1・2・3・4																
	スポーツ D	1	半期	実技	1・2・3・4																
	シーズン・スポーツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2・3・4																
	スポーツと健康	2	半期	講義	1・2・3・4																
	レクリエーション論	2	半期	講義	1・2・3・4																
	レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2・3・4																

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数									備考							
						社会生活情報学専攻			環境情報学専攻			情報デザイン専攻										
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択								
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	8			8			8										
	英語 I B	1	半期	演習	1																	
	英語 I C	1	半期	演習	1																	
	英語 I D	1	半期	演習	1																	
	英語 II A	1	半期	演習	2																	
	英語 II B	1	半期	演習	2																	
	英語 II C	1	半期	演習	2																	
	英語 II D	1	半期	演習	2																	
	英語 III A	1	半期	演習	2																	
	英語 III B	1	半期	演習	2																	
	フランス語 I	1	半期	演習	1・2																	
	フランス語 II	1	半期	演習	1・2																	
	フランス語 III	1	半期	演習	2・3																	
	フランス語 IV	1	半期	演習	2・3																	
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1・2																	
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1・2																	
	ドイツ語 III	1	半期	演習	2・3																	
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	2・3																	
	スペイン語 I	1	半期	演習	1・2																	
	スペイン語 II	1	半期	演習	1・2																	
	スペイン語 III	1	半期	演習	2・3																	
	スペイン語 IV	1	半期	演習	2・3																	
	ロシア語 I	1	半期	演習	1・2																	
	ロシア語 II	1	半期	演習	1・2																	
	ロシア語 III	1	半期	演習	2・3																	
	ロシア語 IV	1	半期	演習	2・3																	
	中国語 I	1	半期	演習	1・2																	
	中国語 II	1	半期	演習	1・2																	
	中国語 III	1	半期	演習	2・3																	
	中国語 IV	1	半期	演習	2・3																	
	韓国語 I	1	半期	演習	1・2																	
	韓国語 II	1	半期	演習	1・2																	
韓国語 III	1	半期	演習	2・3																		
韓国語 IV	1	半期	演習	2・3																		
日本語 I	1	半期	演習	1・2																		
日本語 II	1	半期	演習	1・2																		
日本語 III	1	半期	演習	2・3																		
日本語 IV	1	半期	演習	2・3																		
地域文化理解 I	2	集中	演習	1・2・3・4																		
地域文化理解 II	2	集中	演習	1・2・3・4																		
地域文化理解 III	2	集中	演習	1・2・3・4																		
国際理解(海外研修) I	2	集中	演習	1・2・3・4																		
国際理解(海外研修) II	2	集中	演習	1・2・3・4																		
国際理解(海外研修) III	2	集中	演習	1・2・3・4																		
国際理解(海外研修) IV	1	集中	演習	1・2・3・4																		
国際理解(海外研修) V	1	集中	演習	1・2・3・4																		
最低履修単位数						9	12	9	9	12	3	9	12	9								
						30			24			30										

※キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠを修得済みであること。

注(1) この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注(2) 上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

社会情報学科 社会生活情報学専攻

教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー……	136
1年間の履修登録単位数の上限……	136
標準履修単位数……	136
専門教育科目の履修について……	137
卒業研究について……	137
専門教育科目の卒業要件……	138

社会情報学科 社会生活情報学専攻 教育研究上の目的

社会生活情報学専攻では、意思決定と自己表現ができる、社会知識のある女性を育成する。

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

社会情報学科社会生活情報学専攻では、以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 経済学、経営学、社会学、メディア学を中心とした専門分野の横断的な学びによる学際的思考力。
2. 社会や情報に関する知識や技能を活用して問題を発見し、解決に導く課題解決力。
3. 複雑化した現代社会のなかで自己の見解を的確に表現できる情報発信力と、多様な価値観をもった人々と協力しあえるコミュニケーション力。

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

社会情報学科社会生活情報学専攻では、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた目標を達成するために、次のような教育を行います。

1. 1年次の入門的な科目として、情報に関連する科目と現代社会の理解に必要な人文・社会科学の科目を設けます。
2. 2年次以降、三つの主要分野となる「経済学・経営学」「社会学」「メディア学」を専門的かつ体系的に学ぶための科目を配します。
3. 少人数形式の演習と個別指導を伴う卒業研究を必修科目とし、演習を1年次および3・4年次、卒業研究を4年次に行います。

1 1年間の履修登録単位数の上限

一度に多くの科目を履修すると自宅での予習・復習の学習時間を確保することができず学習効果を妨げてしまいますので、1年間に履修できる単位数の上限を定めています。

(2020年度入学生から適用)

	履修登録単位数の上限			
	1学年	2学年	3学年	4学年
社会情報学科 社会生活情報学専攻	44	46	46	46

※諸課程科目は、この単位に含まれません。

2 標準履修単位数

本学では、各学年において履修すべき単位の標準(目安)を定めています。卒業年次生は、標準履修単位数が卒業要件となりますので、注意してください。

配当学年により授業時間割が変動するため、標準履修単位数を超える場合や達しない場合があります。

社会情報学科 社会生活情報学専攻

(2026年度入学生から適用)

学年	区分	全学共通			小計	学部共通		専門教育			小計	自由選択科目	合計
		必修	選択必修	選択		必修	選択	必修	選択必修	選択			
1学年		5	12	0	17	8	2	8	0	8	26	0	43
2学年		9	12	5	26	8	4	12	0	28	52	4	82
3学年		9	12	9	30	8	6	16	0	42	72	6	108
4学年		9	12	9	30	8	6	26	0	42	82	12	124

3 専門教育科目の履修について

(1) 履修について

- ①他専攻の専門教育科目（選択科目）は、2年次から履修することができる。
- ②自由選択科目について
 - ・全学共通科目、専門教育科目の他に、自由選択科目の卒業必要単位を満たす必要がある。自由選択科目の卒業必要単位は12単位である。
 - ・全学共通科目（選択科目）および専門教育科目（選択科目）の卒業必要単位を超えて修得した科目の単位を、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。
 - ・他専攻の専門教育科目（選択科目）および専門特殊講義（他大学との単位互換制度により修得し認定された科目）を履修し、修得した単位は10単位を上限に、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。
 - ・教職課程、図書館学課程（図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程）、博物館学芸員課程において修得した単位を、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。ただし、1つの課程を履修する者は4単位を上限、2つ以上の課程を履修する者は8単位を上限とする。詳しくは履修ガイド48ページを確認すること。

(2) 資格取得について

教員免許状取得希望者は「[3] 諸課程について 1 教職課程」の項を熟読し、単位の修得に十分注意すること。

(3) 留学認定科目について

「異文化理解Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得しようとする者は、大妻女子大学が行っている海外留学・研修プログラム等に参加し、一定以上の成績を修めること。

4 卒業研究について

- (1) 社会生活情報学専攻の学生が卒業するためには、「卒業研究」を提出しなければならない。
- (2) 「卒業研究」を履修するための条件は以下のとおりとする。
 - ①3年以上在学していること（編入学者は除く）。
 - ②「社会情報学ゼミナールⅢ・Ⅳ」（第4年次）を履修すること。
- (3) 「卒業研究」を履修登録する時期は以下のとおりとする。
 - ①「卒業研究」は所定の期間に履修登録するものとする。
- (4) 「卒業研究」の審査については以下のとおりとする。
 - ①「卒業研究」は、所定の提出期間内に所定の場所に提出し、審査を受けなければならない。（期間・提出先はその都度掲示する。）
 - ②卒業研究再履修者で前期履修登録期間に「卒業研究」を登録して履修した者は、指導教員の許可を得た上で、所定の提出期間内に「卒業研究」を提出し、審査を受けることができる。（期間は別途連絡する。）
 - ③「卒業研究」の審査は、原則として、2名以上の専任教員が行う。
なお、「卒業研究」の詳細については別に指示する。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 社会生活情報学専攻

(2026年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		卒業に必要な単位数	
					必修	選択		
学部 共通科目	必修	コンピュータの基礎	1	半期	講義	2	(8)	
		情報処理実習A	1	半期	実習	2		
		情報処理実習B	1	半期	実習	2		
		基礎社会学	1	半期	講義	2		
	選択	基礎統計学	1	半期	講義・演習		2	(6)
		ソフトウェア概論	1	半期	講義		2	
		経営と社会	1	半期	講義		2	
		AI入門	1	半期	講義・実習		2	
		情報基礎数学	1・2	半期	講義		2	
		社会情報概論	2	半期	講義		2	
		情報社会学論	2	半期	講義		2	
		コミュニケーション論	2	半期	講義		2	
		情報倫理	2・3	半期	講義		2	
		情報セキュリティ論	2・3	半期	講義		2	
情報と職業	3・4	半期	講義		2			
情報と法律	2・3	半期	講義		2			
建築・不動産と社会	2	半期	講義		2			
専門 教育科目	必修	経営学入門	1	半期	講義	2	(26)	
		基礎経済学	1	半期	講義	2		
		社会生活情報基礎演習Ⅰ	1	半期	演習	2		
		社会生活情報基礎演習Ⅱ	1	半期	演習	2		
		プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習	2		
		プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習	2		
		社会情報学ゼミナールⅠ	3	半期	演習	2		
		社会情報学ゼミナールⅡ	3	半期	演習	2		
		社会情報学ゼミナールⅢ	4	半期	演習	2		
	社会情報学ゼミナールⅣ	4	半期	演習	2			
	卒業研究	4	半期	-	6			
	選択	経済学系	経済政策論	1・2	半期	講義		2
			マクロ経済と金融	1・2	半期	講義		2
			教育の経済学	2・3	半期	講義・演習		2
グローバル経済			2・3	半期	講義		2	
社会保障の経済学			2・3	半期	講義		2	
企業の経済学			2・3	半期	講義		2	
行動経済学			2・3	半期	講義		2	
産業界論			2・3	半期	講義		2	
情報の経済学			2・3	半期	講義		2	
日本経済論		2・3	半期	講義		2		
経済史		2・3	半期	講義		2		
女性労働論		2・3	半期	講義		2		
労働経済学		2・3	半期	講義		2		
国際金融論		3・4	半期	講義		2		
ネットワーク経済論		3・4	半期	講義		2		
経営学系	数学の基礎	1	半期	講義		2		
	生活の数	1	半期	講義		2		
	会計学入門	1・2	半期	講義		2		
	マーケティング入門	1・2	半期	講義		2		
	ケーススタディ経営	2	半期	演習		2		
	経営戦略論	2・3	半期	講義		2		
企業と社会	2・3	半期	講義		2			
経営組織論	2・3	半期	講義		2			
簿記	2・3	半期	講義		2			

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		卒業に必要な単位数	
					必修	選択		
専門教育科目	経営学系	財務会計	2・3	半期	講義		2	(42)
		管理会計	2・3	半期	講義		2	
		ファイナンス	2・3	半期	講義		2	
		マーケティング・サイエンス	2・3	半期	講義		2	
		流通論	2・3	半期	講義		2	
		ブランド論	2・3	半期	講義		2	
		消費者行動論	2・3	半期	講義		2	
		マーケティング調査演習	2	半期	演習		2	
		地域経営論	3・4	半期	講義		2	
		ビジネス統計入門	1	半期	講義		2	
		ビジネス統計演習	1	半期	演習		2	
		ビジネス英語	1	半期	講義		2	
	ビジネス英会話	1	半期	講義		2		
	社会学系	現代社会論	1・2	半期	講義		2	
		都市と文化	1・2	半期	講義		2	
		ジェンダーとコロニアリズム	2・3	半期	講義		2	
		グローバリゼーションの社会学	2・3	半期	講義		2	
		量的調査演習Ⅰ	2・3	半期	演習		2	
		量的調査演習Ⅱ	2・3	半期	演習		2	
		質的調査演習	2・3	半期	演習		2	
		社会調査法	1・2・3	半期	講義・演習		2	
		情報行動論	2・3	半期	講義		2	
		情報文化史	2・3	半期	講義		2	
		移動とエスニシティ	2・3	半期	講義		2	
		都市論	2・3	半期	講義		2	
	社会学の理論と方法	2・3	半期	講義		2		
	メディア学系	メディア学基礎	1・2	半期	講義		2	
		メディア史	2・3	半期	講義		2	
		マスメディア論	2	半期	講義		2	
		情報表現法	2	半期	演習		2	
		コンテンツ産業論	2・3	半期	講義		2	
		オルタナティブ・メディア論	2・3	半期	講義		2	
		ソーシャルメディア論	2・3	半期	講義		2	
		メディア運用演習	2・3	半期	演習		2	
		メディア社会論演習	1・2	半期	演習		2	
		広告論	3・4	半期	講義		2	
オンラインデータ分析		3・4	半期	演習		2		
メディアと社会変容		2・3	半期	講義		2		
情報処理科目	情報分析演習	2	半期	演習		2		
	情報リテラシー演習	3	半期	演習		2		
留學認定科目 (教職課程関連科目のみ履修可能)	異文化理解Ⅰ	1・2・3・4	—	—		2		
	異文化理解Ⅱ	1・2・3・4	—	—		2		
	アルゴリズム論及び演習Ⅰ	3	半期	講義・演習		2		
	アルゴリズム論及び演習Ⅱ	3	半期	講義・演習		2		
	情報システム論及び実習Ⅰ	3	半期	講義・実習		2		
	情報システム論及び実習Ⅱ	3	半期	講義・実習		2		
	情報ネットワーク論及び実習Ⅰ	2・3	半期	講義・実習		2		
	情報ネットワーク論及び実習Ⅱ	2・3	半期	講義・実習		2		

注 (1) この表は社会情報学科社会生活情報学専攻の専門教育科目に関する規程であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注 (2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

社会情報学科 環境情報学専攻

教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー……	142
1年間の履修登録単位数の上限……	142
標準履修単位数……	142
専門教育科目の履修について……	143
卒業研究について……	143
専門教育科目の卒業要件……	144
二級建築士国家試験の受験資格……	146
ビオトープ管理士資格……	147

社会情報学科 環境情報学専攻 教育研究上の目的

環境情報学専攻では、環境問題の発生から解決までを学び、総合的な視点を養うことのできる人材を育成する。

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

社会情報学科環境情報学専攻では、以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 環境創成学に関する知識と、それをもとに論理的に考え、的確な意思決定を行う能力。
2. 環境に関する課題に対し、総合的かつ確かな判断のできる問題解決力。
3. 持続可能な「環境づくり」へのとりくみを表現、発信するための情報技術及びコミュニケーション能力。

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

社会情報学科環境情報学専攻では、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた目標を達成するために、次のような教育を行います。

1. 基礎となる必修科目を中心にして、環境創成学に関する知識を習得します。
2. 持続可能な環境づくりや社会の実現にむけて、実習・演習・実験などを通して、実験的に学び、専門的な技術や文理融合の授業をもとに総合的な知識を身につけます。
3. 環境に関する課題に対し、基礎演習を出発点として3年次の少人数ゼミナールと卒業研究を通して、問題設定能力および情報の整理・活用を経て、問題解決力を養います。

1 1年間の履修登録単位数の上限

一度に多くの科目を履修すると自宅での予習・復習の学習時間を確保することができず学習効果を妨げてしまいますので、1年間に履修できる単位数の上限を定めています。

(2020年度入学生から適用)

	履修登録単位数の上限			
	1学年	2学年	3学年	4学年
社会情報学科 環境情報学専攻	42	46	46	46

※諸課程科目は、この単位に含まれません。

2 標準履修単位数

本学では、各学年において履修すべき単位の標準(目安)を定めています。卒業年次生は、標準履修単位数が卒業要件となりますので、注意してください。

配当学年により授業時間割が変動するため、標準履修単位数を超える場合や達しない場合があります。

社会情報学科 環境情報学専攻

(2026年度入学生から適用)

学年	全学共通			小計	学部共通		専門教育			小計	自由選択科目	合計
	必修	選択必修	選択		必修	選択	必修	選択必修	選択			
1学年	5	12	0	17	6	2	6	0	10	24	0	41
2学年	9	12	3	24	6	4	6	0	30	46	10	80
3学年	9	12	3	24	6	6	12	0	52	76	10	110
4学年	9	12	3	24	6	6	16	6 または 2	56 または 60	90	10	124

3 専門教育科目の履修について

(1) 履修について

- ①他専攻の専門教育科目（選択科目）は、2年次から履修することができる。
- ②自由選択科目について
 - ・全学共通科目、専門教育科目の他に、自由選択科目の卒業必要単位を満たす必要がある。自由選択科目の卒業必要単位は10単位である。
 - ・全学共通科目（選択科目）および専門教育科目（選択科目）の卒業必要単位を超えて修得した科目の単位を、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。
 - ・他専攻の専門教育科目（選択科目）および専門特殊講義（他大学との単位互換制度により修得し認定された科目）を履修し、修得した単位は10単位を上限に、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。
 - ・教職課程、図書館学課程（図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程）、博物館学芸員課程において修得した単位を、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。ただし、1つの課程を履修する者は4単位を上限、2つ以上の課程を履修する者は8単位を上限とする。詳しくは履修ガイド48ページを確認すること。
- ③「社会情報学ゼミナールⅠ・Ⅱ」については全学共通科目及び学部共通科目、専門教育科目で合計50単位以上修得していることを履修の条件とする。
- ④「社会情報学ゼミナールⅢ・Ⅳ」及び「卒業研究A・B」については全学共通科目及び学部共通科目、専門教育科目で合計96単位以上修得し、かつ、第2年次までの必修科目の単位をすべて修得していることを履修の条件とする（編入生は除く）。
- ⑤「卒業研究A・B」を履修するためには3年以上在学していることを条件とする（編入生は除く）。
- ⑥先修条件の欄に科目名が示されている科目は、先修条件の科目を修得済みでないと、履修することができない。ただし、「住居デザイン演習Ⅰ」（後期開講）は、「設計製図の基礎」（前期開講）と同時に履修登録することができる。その場合、前期に「設計製図の基礎」の単位が修得できなければ、後期の「住居デザイン演習Ⅰ」は、自動的に履修が削除される。
- ⑦「力とかたちⅡ」（後期開講）は「力とかたちⅠ」（前期開講）と同時に履修登録すること。「力とかたちⅠ」を履修した結果、単位を修得できなかった場合*も、後期に「力とかたちⅡ」を履修できる。なお、「力とかたちⅠ」を履修し単位を修得できず、次年度以降に「力とかたちⅡ」を履修する場合は、教育支援グループに申し出ること。
 - * E評価（出席不足）を除く。

(2) 資格取得について

- ①二級建築士・木造建築士資格の受験資格取得希望者は「6 二級建築士国家試験の受験資格」の項を熟読し、単位の習得に十分注意すること。
- ②ビオトープ管理士資格希望者は「7 ビオトープ管理士資格（受験科目一部免除）」の項を熟読し、単位の取得に十分注意すること。
- ③教員免許状取得希望者は「3 諸課程について 1 教職課程」の項を熟読し、単位の修得に十分注意すること。

(3) 留学認定科目について

- ①「異文化理解Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得しようとする者は、大妻女子大学が行っている海外留学・研修プログラム等に参加し、一定以上の成績を修めること。

4 卒業研究について

- (1) 卒業研究は、原則として「卒業研究A」を履修するものであるが、3年終了時点で通算GPAが1.5未満の場合は「卒業研究B」を履修する。
- (2) 審査については以下のとおりとする。
 - ①「卒業研究A」を履修したものは卒業研究論文及び卒業研究要旨を、「卒業研究B」を履修したものは卒業研究要旨を、それぞれ、所定の提出期間内に所定の場所に提出し、審査を受けなければならない。
 - ②審査は、原則として、2名以上の専任教員が行う。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 環境情報学専攻

(2026年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数			先修条件	資格科目	卒業に必要な単位数
					必修	選択必修	選択			
学部 共通科目	必修	コンピュータの基礎	1	半期	講義	2				(6)
		情報処理実習 A	1	半期	実習	2				
		情報処理実習 B	1	半期	実習	2				
		基礎社会学	1	半期	講義				2	(6)
		基礎統計学	1	半期	講義・演習				2	
		ソフトウェア概論	1	半期	講義				2	
		経営と社会	1	半期	講義				2	
		A I 入門	1	半期	講義・実習				2	
		情報基礎数学	1・2	半期	講義				2	
		社会情報概論	2	半期	講義				2	
		情報社会論	2	半期	講義				2	
		コミュニケーション論	2	半期	講義				2	
		情報倫理	2・3	半期	講義				2	
		情報セキュリティ論	2・3	半期	講義				2	
	情報と職業	3・4	半期	講義				2		
	情報と法律	2・3	半期	講義				2		
	建築・不動産と社会	2	半期	講義				2		
必修	環境情報学基礎演習	1	半期	演習	2				(16)	
	環境学入門	1	半期	講義	2					
	エコライフ論	1	半期	講義	2					
	環境情報処理論及び実習	3	半期	講義・実習	2					
	社会情報学ゼミナールⅠ	3	半期	演習	2		注(4)			
	社会情報学ゼミナールⅡ	3	半期	演習	2		注(4)			
	社会情報学ゼミナールⅢ	4	半期	演習	2		注(4)			
社会情報学ゼミナールⅣ	4	半期	演習	2		注(4)				
選択必修	卒業研究 A	4	半期	—		6		注(4)	2	
	卒業研究 B	4	半期	—		2		注(4)		
専門 教育 科目	人間と環境	はじめての物理	1	半期	講義			2		(2)
		化学の基礎	1	半期	講義			2		
		生命のしくみ	2	半期	講義			2		
		環境と生命化学	2	半期	講義			2		
		地球環境論	2	半期	講義			2		
		住居環境論	2	半期	講義			2	☆	
		宇宙地球科学	2	半期	講義			2		
		物理の基礎(※1)	2	半期	講義			2		
		自然科学実験(物理)	2	半期②	実験			2		
		自然科学実験(化学)	2	半期②	実験			2		
		食と環境	3	半期	講義			2		
		健康と環境	3	半期	講義			2		
		環境生理学	3	半期	講義			2		
	健康と化学物質	3	半期	講義			2			
	環境科学	3	半期	講義			2			
	住居のデザイン	住居学	1	半期	講義			2	☆	
		住環境のための数学	1	半期	講義			2		
		設計製図の基礎	2	半期②	演習			2	住居学 ☆	
		住居デザイン演習Ⅰ	2	半期②	演習			2	設計製図の基礎 ☆	
		住居デザイン	2	半期	講義			2	住居学 ☆	
		住環境とエコデザイン	2	半期	講義			2	☆	
		キッチンデザイン演習	2	半期	講義・演習			2	注(5) ☆	
		力とかたちⅠ	2	半期②	講義			2	住環境のための数学 ☆	
		力とかたちⅡ	2	半期	講義			2	注(5) ☆	
		建築と都市の歴史	2	半期	講義			2	☆	
		建築と社会	2	半期	講義			2	☆	
建築インテリア材料		3	半期	講義			2	☆		
住居デザイン演習Ⅱ		3	半期②	演習			2	設計製図の基礎・住居デザイン演習Ⅰ ☆		
C A D 演習	3	半期	講義・演習			2	☆			
建築法規と都市デザイン	3	半期	講義			2	◆ ☆			
住環境実験・演習	3	半期②	講義・演習			2	☆			
建築設備	3	半期	講義			2	☆			

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数			先修条件	資格科目	卒業に必要な単位数
					必修	選択必修	選択			
専門教育科目	持続的なくらしと社会	サステナブル社会論	2	半期	講義			2		62 (56+6) または (60+2)
		環境と経済Ⅰ	2・3	半期	講義			2		
		環境と法律Ⅰ	2・3	半期	講義			2	◆◇	
		環境と経営	2・3	半期	講義			2		
		環境とツーリズム	3	半期	講義			2		
		環境とまちづくり	3	半期	講義			2	◆☆	
		環境マネジメント論	3	半期	講義			2		
		気候変動と社会	3	半期	講義			2		
		地域環境論	3	半期	講義・演習			2	☆	
		環境と経済Ⅱ	3・4	半期	講義			2		
		環境と法律Ⅱ	3・4	半期	講義			2	◆◇	
		環境とアグリビジネス	3・4	半期	講義			2		
		環境とマーケティング	3・4	半期	講義			2		
		エネルギーと環境	3・4	半期	講義			2		
		国際関係と環境法	3・4	半期	講義			2		
	環境との共生	環境デザイン論	1	半期	講義			2	◆◇☆	
		自然科学入門	1	半期	講義・演習			2		
		地学の基礎	1	半期	講義			2		
		海の環境学	2	半期	講義			2		
		環境保護論	2	半期	講義			2	◆◇	
		環境アセスメント論	2	半期	講義			2	☆	
		エコロジー	2	半期	講義			2	◆◇	
		生物の基礎	2	半期	講義			2		
		環境生態デザイン	3	半期	講義			2	◇☆	
		フィールドワーク	3	半期②	実習			2	◆◇	
		ビオトープ論	3	半期	講義			2	◆◇☆	
		建築デザイン	3	半期	講義			2	☆	
		環境教育	3	半期	講義			2		
		自然科学実験(生物)	3	半期②	実験			2		
		自然科学実験(地学)	3	半期②	実験			2		
処情 理報	プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習			2			
	プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習			2			
科認留 目定学	異文化理解Ⅰ	1・2・3・4	—	—			2			
	異文化理解Ⅱ	1・2・3・4	—	—			2			

※1 隔年開講。

注(1) この表は社会情報学科環境情報学専攻の専門教育科目に関する規程であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注(2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注(3) ◆印はビオトープ計画管理士2級試験一部免除に必要な科目。◇印はビオトープ施工管理士2級試験一部免除に必要な科目。

☆印は二級建築士・木造建築士試験指定科目。

注(4) 「社会情報学ゼミナールⅠ/Ⅱ」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目・自由選択科目で合計50単位以上、「社会情報学ゼミナールⅢ/Ⅳ」及び「卒業研究A/B」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目・自由選択科目で合計96単位以上取得し、かつ、第2年次までの必修科目の単位をすべて取得(編入学生は除く)していることを履修の条件とする。

注(5) 「キッチンデザイン演習」は専門選択科目の「設計製図の基礎」を同時に履修登録すること。「力とかたちⅡ」は専門選択科目の「力とかたちⅠ」を同時に履修登録すること。

6 二級建築士国家試験の受験資格

受験資格取得方法について

本専攻では、以下の2条件を満たした場合、卒業後、国家試験の受験ができます（二級建築士受験資格が得られます）。

- ① 国土交通大臣による指定科目分類（表中ABCDE）ごとに必要な単位数（必須単位数）を満たすこと
- ② 指定科目分類AからFまでの単位を合計で20単位以上取得すること

卒業時に要件を満たした場合は、受験資格を得たことを示す「指定科目修得単位証明書卒業証明書」が発行されます。

なお、建築士免許登録には、二級建築士試験（学科の試験、設計製図の試験）に合格した上で、実務経験が必要になります。建築士免許登録の際までに必要な実務経験年数は②の単位の取得状況に応じて変わります。40単位で実務経験0年、30単位以上39単位で実務経験1年、20単位以上29単位で実務経験2年が必要となります。

二級建築士受験資格取得に必要な科目、単位数

(2026年度入学生から適用)

国土交通大臣による指定科目の分類等		左記に対応する本学開設科目及び単位数		
分類毎の指定科目	最低修得単位数	本学開設科目	単位数	
A	建築設計製図	設計製図の基礎	2	
		住居デザイン演習Ⅰ	2	
		住居デザイン演習Ⅱ	2	
		キッチンデザイン演習	2	
B	建築計画、建築環境工学又は建築設備	住居学	2	
		住居デザイン	2	
		建築デザイン	2	
		住居環境論	2	
C	構造力学、建築一般構造又は建築材料	力とかたちⅠ	2	
		力とかたちⅡ	2	
		建築インテリア材料	2	
D	建築生産	1	建築と社会	2
E	建築法規	1	建築法規と都市デザイン	2
F	その他	環境デザイン論	2	
		環境アセスメント論	2	
		建築と都市の歴史	2	
		環境とまちづくり	2	
		住環境実験・演習	2	
		環境生態デザイン	2	
		ビオトープ論	2	
		C A D 演習	2	
		地域環境論	2	
住環境とエコデザイン	2			
A～Eの合計		10	28	
A～Fの合計		20～40	48	

その他

先修条件などに注意して、履修計画を立ててください。

詳細は掲示や専攻で実施するガイダンスなどで必ず確認してください。特に履修に関しては変更になることがあるので、掲示など常に確認して下さい。

7 ビオトープ管理士資格（受験科目一部免除）

ビオトープ管理士について

ビオトープ管理士は、地域の自然生態系を守り、取り戻す「ビオトープ事業」を効果的に推進するために必要な知識、技術、評価・応用能力を持つ者に与えられる、公益財団法人日本生態系協会が認定する資格です。

ビオトープ管理士には以下の2種類の資格があります。

- ①ビオトープ計画管理士 地域の自然生態系の保護・保全、復元、創出の理念や、野生生物などの調査技術を踏まえた、広域的な地域計画（都市計画、農村計画など）のプランナー
- ②ビオトープ施工管理士 地域の自然生態系の保護・保全、復元、創出の理念や、野生生物などの調査技術を踏まえた、設計・施工にあたる事業現場担当の技術者

受験科目の一部免除が適用される学科・専攻

社会情報学科 環境情報学専攻

資格取得方法について

年1回（秋頃）に実施される資格試験を受験し合格したのち、住民票による本人確認を経て、公益財団法人日本生態系協会により有資格者として認証され、資格を取得することができます。

社会情報学部 社会情報学科 環境情報学専攻の在学学生、および卒業後5年未満の卒業生に対しては、「2級ビオトープ計画管理士資格試験」「2級ビオトープ施工管理士資格試験」を受験する際に、下表に該当する科目の単位を「修得済み」であるか、または受験する年度内に「修得見込み（履修中）」であることを受験申込時に申告する事で、各受験科目のうち「択一問題」の半分が免除されます。

ビオトープ管理士試験 受験科目一部免除の適用に必要な科目

(2025年度入学生から適用)

本学開設科目	配当年次	単位数	2級ビオトープ 計画管理士	2級ビオトープ 施工管理士	試験科目における位置付け	
					共通科目	専門科目
環境デザイン論	1	2	◆	◇	ビオトープ論	計画部門、施工部門
環境保護論	2	2	◆	◇	ビオトープ論、環境関連法	計画部門、施工部門
エコロジー	2	2	◆	◇	生態学、ビオトープ論	計画部門、施工部門
環境と法律Ⅰ	2・3	2	◆	◇	環境関連法	計画部門、施工部門
環境と法律Ⅱ	3・4	2	◆	◇	環境関連法	計画部門、施工部門
フィールドワーク	3	1	◆	◇	生態学	計画部門、施行部門
ビオトープ論	3	2	◆	◇	ビオトープ論	計画部門、施工部門
環境とまちづくり	3	2	◆			計画部門
建築法規と都市デザイン	3	2	◆			計画部門
環境生態デザイン	3	2		◇		施工部門

注意、その他

- ・1回の受験機会に際し、「2級ビオトープ計画管理士資格試験」あるいは「2級ビオトープ施工管理士資格試験」のいずれか一方しか受験できません。
- ・単位修得見込み（履修中）として試験を受けたのち、その科目の単位が修得できなかった場合、各試験に合格しても合格は取り消しとなります。
- ・詳細は掲示や専攻で実施するガイダンスなどで必ず確認してください。特に履修に関することについては変更になることがあるので、掲示など常に確認してください。

社会情報学科 情報デザイン専攻

教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー……	150
1年間の履修登録単位数の上限……	150
標準履修単位数……	150
専門教育科目の履修について……	151
卒業研究について……	151
専門教育科目の卒業要件……	152

社会情報学科 情報デザイン専攻 教育研究上の目的

情報デザイン専攻では、高度な情報処理能力によって情報システムを具現化できる人材、及びヒューマンスキルに基づいて情報を的確に表現できる人材を育成する。

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

社会情報学科情報デザイン専攻では、以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 情報とシステム及び情報とデザインに関する知識や技能を理解・修得し、新たな課題を見出し、問題を解決する能力。
2. 実践的な情報処理能力、コミュニケーション力を用い、諸課題に対し、的確な意思決定をし、未来を築いていく能力。
3. 学修や研究を通して、修得した、情報とシステム及び情報とデザインに関する知識や技能を、社会の中で主体的に活用できる能力。

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

社会情報学科情報デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた目標を達成するために、次のような教育を行います。

1. 情報基礎科目により、基本的な情報処理能力の理論的、技術的知識を修得します。
2. システム系科目及びデザイン系科目により、情報とシステム及び情報とデザインに関する幅広い専門分野を総合的に学びます。
3. 自ら設定したテーマに沿って、計画を立て、調査、分析、考察、発表を行うことで実践的な力を育成します。

1 1年間の履修登録単位数の上限

一度に多くの科目を履修すると自宅での予習・復習の学習時間を確保することができず学習効果を妨げてしまいますので、1年間に履修できる単位数の上限を定めています。

(2020年度入学生から適用)

	履修登録単位数の上限			
	1学年	2学年	3学年	4学年
社会情報学科 情報デザイン専攻	44	48	52	46

※諸課程科目は、この単位に含まれません。

2 標準履修単位数

本学では、各学年において履修すべき単位の標準(目安)を定めています。卒業年次生は、標準履修単位数が卒業要件となりますので、注意してください。

配当学年により授業時間割が変動するため、標準履修単位数を超える場合や達しない場合があります。

社会情報学科 情報デザイン専攻

(2026年度入学生から適用)

学年	区分	全学共通			小計	学部共通		専門教育			小計	自由選択科目	合計
		必修	選択必修	選択		必修	選択	必修	選択必修	選択			
1学年		5	12	1	18	8	4	12	0	0	24	0	42
2学年		9	12	7	28	8	6	22	0	14	50	4	82
3学年		9	12	9	30	8	8	30	0	24	70	14	114
4学年		9	12	9	30	8	8	40	0	24	80	14	124

3 専門教育科目の履修について

(1) 履修について

- ①他専攻の専門教育科目（選択科目）は、2年次から履修することができる。
- ②自由選択科目について
 - ・全学共通科目、専門教育科目の他に、自由選択科目の卒業必要単位を満たす必要がある。自由選択科目の卒業必要単位は14単位である。
 - ・全学共通科目（選択科目）および専門教育科目（選択科目）の卒業必要単位を超えて修得した科目の単位を、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。
 - ・社会情報学部その他専攻の専門教育科目（選択科目）および専門特殊講義（他大学との単位互換制度により修得し認定された科目）を履修し、修得した単位は10単位を上限に、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。
 - ・教職課程、図書館学課程（図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程）、博物館学芸員課程において修得した単位を、自由選択科目の卒業必要単位に含めることができる。ただし、1つの課程を履修する者は4単位を上限、2つ以上の課程を履修する者は8単位を上限とする。詳しくは履修ガイド48ページを確認すること。
- ③「社会情報学ゼミナールⅠ・Ⅱ」については全学共通科目及び学部共通科目、専門教育科目で合計50単位以上修得していることを履修の条件とする。

(2) 資格取得について

- ①教員免許状取得希望者は「[3] 諸課程について 1 教職課程」の項を熟読し、単位の修得に十分注意すること。

(3) 留学認定科目について

- ①「異文化理解Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得しようとする者は、大妻女子大学が行っている海外留学・研修プログラム等に参加し、一定以上の成績を修めること。

4 卒業研究について

- (1) 情報デザイン専攻の学生が卒業するためには、「卒業研究」を提出しなければならない。
- (2) 「卒業研究」を履修するための条件は以下のとおりとする。
 - ①3年以上在学していること（編入学者は除く）。
 - ②原則として、指導教員の担当する「社会情報学ゼミナールⅢ・Ⅳ」（第4年次）を履修すること。
- (3) 「卒業研究」を履修登録する時期は以下のとおりとする。
 - ①「卒業研究」は所定の期間に履修登録するものとする。
- (4) 「卒業研究」の審査については以下のとおりとする。
 - ①「卒業研究」は、所定の提出期間内に所定の場所に提出し、審査を受けなければならない。（期間・提出先はその都度掲示する。）
 - ②卒業研究再履修者で前期履修登録期間に「卒業研究」を登録して履修した者は、指導教員の許可を得た上で、所定の提出期間内に「卒業研究」を提出し、審査を受けることができる。（期間は別途連絡する。）
 - ③「卒業研究」の審査は、原則として、2名以上の専任教員が行う。
なお、「卒業研究」の詳細については別に指示する。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 情報デザイン専攻

(2026年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		先修条件	卒業に必要な単位数
					必修	選択		
学部 共通 科目	必修	コンピュータの基礎	1	半期	講義	2		(8)
		情報処理実習A	1	半期	実習	2		
		情報処理実習B	1	半期	実習	2		
		情報基礎数学	1	半期	講義	2		
	選択	基礎社会学	1	半期	講義		2	(8)
		基礎統計学	1	半期	講義・演習		2	
		ソフトウェア概論	1	半期	講義		2	
		経営と社会	1	半期	講義		2	
		AI入門	1	半期	講義・実習		2	
		社会情報概論	2	半期	講義		2	
		情報社会学	2	半期	講義		2	
		コミュニケーション論	2	半期	講義		2	
		情報倫理	2・3	半期	講義		2	
		情報セキュリティ論	2・3	半期	講義		2	
情報と職業	3・4	半期	講義		2			
情報と法律	2・3	半期	講義		2			
建築・不動産と社会	2	半期	講義		2			
専門 教育 科目	情報基礎	情報デザイン原論	1	半期	講義	2		(40)
		情報数学A	1	半期	講義	2		
	システム	情報システム論及び実習Ⅰ	3	半期	講義・実習	2		
		情報システム論及び実習Ⅱ	3	半期	講義・実習	2		
		プログラミング入門	1	半期	講義・演習	2		
		プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習	2		
		プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習	2		
		プログラミング論及び演習	2	半期②	講義・演習	4		
	デザイン	デザイン論及び演習Ⅰ	1	半期	講義・演習	2		
		デザイン論及び演習Ⅱ	1	半期	講義・演習	2		
	総合学習	情報デザイン基礎演習	1	半期	演習	2		
		クリエイティブ思考法Ⅰ	2	半期	講義・演習	2		
		社会情報学ゼミナールⅠ	3	半期	演習	2	注(3)	
		社会情報学ゼミナールⅡ	3	半期	演習	2	注(3)	
		社会情報学ゼミナールⅢ	4	半期	演習	2		
		社会情報学ゼミナールⅣ	4	半期	演習	2		
	卒業研究	4	半期	—	6			
	情報基礎	情報数学B	2	半期	講義		2	
		情報とモデル	2・3・4	半期	講義		2	
		統計処理及び演習	2・3	半期	講義・演習		2	
		AIデータ分析	3	半期	講義・演習		2	
		数値計算論	3	半期	講義		2	
		情報処理機器概論	1・2	半期	講義		2	
スマートデバイス論		2	半期	講義		2		
AI社会論		2	半期	講義		2		
経営情報システム論		3・4	半期	講義		2		
選択		情報ネットワーク論及び実習Ⅰ	2・3	半期	講義・実習	2		
		情報ネットワーク論及び実習Ⅱ	2・3	半期	講義・実習	2	情報ネットワーク論及び実習Ⅰ	
		オフィスマネジメント論Ⅰ	2	半期	講義	2		
		オフィスマネジメント論Ⅱ	2	半期	講義	2		
		情報管理	2・3	半期	講義	2		
		システム	アルゴリズム論及び演習Ⅰ	3	半期	講義・演習	2	
	アルゴリズム論及び演習Ⅱ		3	半期	講義・演習	2		
	シミュレーション論		2・3・4	半期	講義	2		
	スマートデバイス応用Ⅰ		3	半期	講義・演習	2		
	スマートデバイス応用Ⅱ		3	半期	講義・演習	2		
	オブジェクト指向プログラミング論及び実習Ⅰ		3	半期	講義・演習	2		
	オブジェクト指向プログラミング論及び実習Ⅱ		3	半期	講義・演習	2	オブジェクト指向プログラミング論及び実習Ⅰ	
	Webプログラミング		3	半期	講義・演習	2		
AIプログラミング	3	半期	講義・演習	2				

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		先修条件	卒業に必要な単位数
					必修	選択		
専門教育科目 選択	サービスデザイン	2	半期	講義・演習		2		(24)
	認知科学	2	半期	講義		2		
	デジタルコンテンツ	2	半期	講義・演習		2		
	デジタルコンテンツ応用	2	半期	講義・演習		2		
	メディアアートⅠ	3	半期	講義・演習		2		
	メディアアートⅡ	3	半期	講義・演習		2		
	感性デザイン及び演習	3	半期	講義・演習		2		
	ウェブデザイン	3	半期	講義・演習		2		
	音声・音響デザイン	3・4	半期	講義・演習		2		
	インタフェースデザイン論	2	半期	講義・演習		2		
	グラフィックデザイン	2	半期	講義・実習		2		
	インタラクションデザイン	2	半期	講義・実習		2		
	コンピュータ・グラフィックスⅠ	2	半期	講義・演習		2		
	コンピュータ・グラフィックスⅡ	2	半期	講義・演習		2	コンピュータ・グラフィックスⅠ	
	画像情報処理論及び演習	3・4	半期	講義・演習		2		
総合 学習 科目 指定	クリエイティブ思考法Ⅱ	2	半期	講義・演習		2	クリエイティブ思考法Ⅰ	
	異文化理解Ⅰ	1・2・3・4	—	—		2		
	異文化理解Ⅱ	1・2・3・4	—	—		2		

注(1) この表は社会情報学科情報デザイン専攻の専門教育科目に関する規程であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注(2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注(3) 「社会情報学ゼミナールⅠ・Ⅱ」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目で合計50単位以上取得していることを履修の条件とする。



OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY 2026

